

(社)地盤工学会 室内試験規格・基準委員会  
「平成 20 年度 第 2 回 議事録」

日時	平成 20 年 7 月 11 日 (金) 11:30 ~ 13:30		場所	中国新聞ビル 703 会議室	
委員長	後藤 聡		幹事(WG9)	豊田 浩史	
幹事	川崎 了		委員	森田 宏	×
委員	小橋 秀俊	×	委員(WG1)	杉井 俊夫	
委員(WG1)	細野 高康		委員(WG2)	川口 正人	
委員(WG2)	太田 岳洋	×	委員(WG3)	渡部 要一	
委員(WG3)	山本 肇	×	委員(WG4)	仙頭 紀明	
委員(WG4)	畠山 正則		委員(WG4)	上原 真一	×
委員(WG5)	横田 聖哉		委員(WG6)	平井 貴雄	
委員(WG8)	石川 達也				

:出席 ×:欠席

議事録担当:川崎 了

配布資料(下線は当日配布資料):

資料番号なし:平成 20 年度第 2 回室内試験規格・基準委員会議題書

資料 20-2-1-1:JIS 規格の公示結果(WG1)

資料 20-2-1-2:JIS 規格の公示結果(WG2)

資料 20-2-1-3:JIS 規格の公示結果(WG3)

資料 20-2-1-4:JIS 規格の公示結果(WG4)

資料 20-2-1-5:JIS 規格の公示結果(WG5)

資料 20-2-2:解説等執筆状況調査票

資料 20-2-3:作業スケジュール表

資料 20-2-4:JIS 規格, JGS 基準の一覧表

資料 20-2-5:会員からの質問

資料 20-2-6:平成 20 年度第 1 回室内試験規格・基準委員会議事録

資料 20-2-7:岩盤不連続面の一面せん断試験方法に関する資料一式

議 題:

【審議事項】

(1)JIS 規格の公示結果と改正素案(最終版)の確認

JIS 規格を公示した結果と改正素案の審議が行われた。その主な内容は、以下に記載するとおりである。

・公示した結果, JIS 規格に対する会員からの意見はなかった。

・次回の基準部会(7/18 開催予定)へ上申するため, 修正した公示結果と各 JIS 規格を 7/15(火)までに豊田幹事と学会事務局(日向氏)まで送付する。

- ・MS-Word 形式の各 JIS 規格は、7/14(月)の午前中に学会事務局より各 WG まで送付してもらうよう幹事会が手配する。

各 WG 共通:

- ・各 JIS 規格の中に、ふるいの「目開き」、供試体の「成形」の表現がある場合は、これらが正しく表記されているかどうか確認を行う。
- ・序文の表現について、各 WG で再度見直しを行う。
- ・規格の序文にある改正回数については、今回の改正を含めるかどうか明らかでないため、その回答が 7/14(月)までに学会事務局から各 WG へ届くように幹事会が手配を行う。
- ・各 WG の公示原稿のタイトル(例えば、「～に対する検討結果の報告」と「～への意見について」)および文章表現(例えば、「一部改正規格案」と「一部改正規格素案」など)については、学会事務局および幹事会で原案を作成し、WG 全体で統一する。

WG1:

- ・WG1 内のメンバーから表 - 1 の 5 つの意見が出されたことから、No.1 ~ 5 の修正を行う。
- ・タイトルの「地盤工学会基準案」は「日本工業規格」と修正するか、あるいは、削除する。
- ・タイトルの中に、「JIS A 1202 土粒子の密度試験方法」および「JIS A 1203 土の含水比試験方法」を加筆する。
- ・本文の 1 行目の「標記の 7 つ」は「標記の 9 つ」に修正する。
- ・本文 1 行目の公示された会誌号は「平成 20 年 2 月号」と数字を加筆する。
- ・本文 2 行目の「平成 20 年 4 月 31 日」は「平成 20 年 4 月 30 日」に修正する。
- ・「表 - 1」のキャプションの「基準案」は「規格案」に修正する。

WG2:

- ・各 WG 共通以外には、特になし。

WG3:

- ・各 WG 共通以外には、特になし。

WG4:

- ・本文の 1 行目「JIS A 1226」は「JIS A 1216」に修正する。

WG5:

- ・各 WG 共通以外には、特になし。

## (2) JGS 基準の公示結果と改正素案(最終版)の確認

JGS 基準を公示した結果と改正素案について審議が行われた。その結果は、以下に示すとおりである。

WG6:

改正素案に対し、会員からの意見はなかった。しかし、時間的に次回の基準部会(7/18 開催予定)への上申は無理なので、次々回の基準部会(9月開催)に上申する。

WG4:

旧 WG7 の「岩盤不連続面の一面せん断試験方法」については、解説の完成が遅れていることから次回の基準部会(7/18 開催予定)への上申は無理なので、次々回の基準部会(9月開

催予定)に上申することになった。なお、基準素案を公示した後の新 JIS 書式に対応させるための修正に関しては、会告原稿案の「表 - 1」の「その他」に含めることにする。また、基準およびその解説に対する会員からの意見に対する回答書を当委員会まで提出していただくことになった。

#### (3) 赤本改訂版の解説原稿の査読方法の確認

赤本改訂版の解説原稿の査読方法について議論した結果、以下のとおりとすることで了承された。

- ・解説の内容に関しては、執筆を担当した各 WG が責任を持つこととし、解説原稿の査読では書式の確認を中心に実施する。
- ・各 WG の解説原稿を他の2つの WG が査読することを基本とする。
- ・解説原稿については、今回の赤本改定作業における具体的な変更箇所が査読者に対してわかるように、新たに加筆・修正した箇所には色を付けるなどの工夫を施す。
- ・各 WG は遅くとも7月末日までに、基準、規格、解説の原稿の全部をサーバ内にアップロードしておく。なお、査読しやすい原稿(図表を含む)をアップロードする。
- ・査読の開始時期を当初の予定から1ヵ月後ろに遅らせ、8月初旬から開始する。
- ・具体的な査読分担および査読結果の提出方法については、幹事会で原案を作成した後に各 WG まで連絡する。
- ・解説原稿に関して、全体あるいは各 WG 間で調整が必要と思われる場合には、適時幹事会まで連絡する。

#### (4) 今後の作業スケジュールの確認

当初の全体スケジュールに対し、解説原稿の査読の開始時期が1ヵ月遅れになることが了承された。具体的には、以下のとおりである。

- ・8月末日までに、各 WG は他の WG の解説原稿を査読する。なお、各 WG の査読者の選定および査読結果のとりまとめは、各 WG の幹事が行う。
- ・9月末日までに、出された査読意見に対して各担当 WG 内で検討し、その結果を踏まえ修正された解説原稿を提出する。
- ・10月末日までに、各 WG は修正された解説原稿を再査読する。
- ・11月末日までに、出された再査読意見に対して各担当 WG 内で検討し、その結果を踏まえ修正された解説原稿を提出する。
- ・12月末日までに、室内試験規格・基準委員会で全体の読み合わせ、調整および確認作業を行う。

#### (5) 会員からの質問

総務部に対して、資料 20-2-5 のような岩石のデータシートに関する質問が寄せられているとの報告があり、川崎幹事が会員に対する回答書の原案を作成することで了承された。

- (6) その他  
特になし。

【報告事項】

(1) 前回議事録の確認

既に確定済みであるが、資料 20-2-6 を用いて前回委員会の議事内容について再度確認を行った。

(2) 赤本改訂版の解説原稿執筆状況

資料 20-2-2 を用いて、2008 年 6 月 8 日時点における各 WG の解説原稿の執筆状況について報告が行われた。各 WG のサーバへの原稿アップロード状況は下記のとおりである。なお、JGS 基準、JIS 規格、および、それらの解説に関しては、遅くとも 7 月末日までにアップロードを完了させることになった。

幹事会：

第 1 編総説(第 1 章～第 3 章、第 6 章)および付録の執筆を担当しているが、未だ執筆に着手していない。赤本改訂版の原稿全体を見てから執筆に着手する予定である。

WG1：

すべて完了している。すなわち、JGS 基準は 23 基準がアップロードされている。また、JIS 規格は 9 規格がアップロード済みである。解説は第 1 章～第 14 章がアップロードされている。

WG2：

JGS 基準は 7 基準がアップロード済みであるが、JIS 規格はアップロードされていない。解説は概説と 7 基準がアップロードされている。

WG3：

JIS 基準および JIS 規格はアップロードされていないが、解説は透水試験、段階載荷圧密、定ひずみ速度載荷圧密がアップロードされている。

WG4：

基準の数が非常に多く、最終の編集作業中であるため、未だ何もアップロードできていない。

WG5：

編集作業自体は全部終了しているが、アップロードを実施していない。

WG6：

JGS 基準および JIS 規格はアップロードしていないが、解説は第 3 章～第 6 章までをアップロード済みである。

WG8：

解説のみの執筆であり、第 2 章～第 5 章までがアップロードを完了している。第 1 章は近日中にアップロードする予定である。

(3) メンバーの追加

既に電子メールによる審議・承認済みであるが、確認の意味で下記のメンバーの追加が承認さ

れたことが再度報告された。

WG4 追加メンバー：小田和広 氏

所属：大阪大学大学院工学研究科地球総合工学専攻社会基盤工学部門

理由：三軸試験の解説執筆を担当していただくため。

(4) その他

- ・CEN/TC341/WG6 “Laboratory tests on soils”への委員派遣依頼があり、幹事会で検討した結果、豊田幹事と吉嶺充俊氏(首都大学東京)の2名に依頼した旨の報告があった。
- ・(社)日本粉体工業技術協会「ISO 対応委員会」の「ふるい関係小委員会」の委員推薦に関してWG1で検討していただいた結果、岩崎公俊氏(基礎地盤コンサルタンツ)を推薦することになった旨の報告があった。
- ・次回委員会の開催時期については未定であり、必要に応じて幹事会から適時連絡することになった。なお、今回は解説原稿の全体読み合わせを行う必要があるため、スケジュールによれば12月中に開催することになる。

以上